

国税庁長官賞

私にかかる教育費

長岡市立大島中学校

三年 長島 優花

夏休みの課題の一つに「税の作文」があった。また作文か。いざ書こうと思っても、何を書けばいいのか全く分からない。そもそも「税」について良く知らない私が作文なんて書けるはずがない。そう思った。しかし、中学三年生にもなって社会の仕組みすら知らないのは、恥ずかしいことだと思い、「税」について、色々調べてみた。

私は、資料を見て驚いた。私達中学生の年間教育費に一人当たり約百万円かかっているのだ。一日当たりで考えると約五千円。中学校を卒業するまでに約三百万円のお金がかかっていることが分かる。これは、一人にかかるお金であって、全国に中学生は、三百万人以上いる。当然、教育費がかかっているのは中学生だけでない。小学生や高校生にもかかる。だから、全てをあわせたら、ものすごい大きな金額になるはずだ。自分の知らないところで税金が動き、使っていたんだ。それを知った私は、もっと知りたい、学んでみたいと思った。新学期となり、教室に入るとずらりと並んでいる新しい教科書。毎日使う、机や椅子。先生が黒板に字を書くために使

うチョークなど、これらはすべて、多くの人が納めた税金によって、まかなわれている。日本では、年間で約五兆三千五百六十八億円の税金が教育のために使われている。私の住んでいる新潟県でも福祉や医療よりも多くのお金を教育にかけているということを知った。なぜ税金をこんなにかくさん教育にかけてくれているのだろうか。他にもお金を使いたい場所なんて山ほどあるはずだ。もっと道路をきれいにしたい。もっと福祉に力を入れるべきだ。もっと医療を充実したものにしたい。考えれば、意見を求めれば切りがない。それでも、勉強をさせてくれる。教育にお金をかける理由。それはきっと、将来この国を背負っていかなければならぬ私達への期待をこめて。そして未来への投資をしてきているのではないかと私は考えた。こんなになりたいことはない。世界には、勉強したくても出来ない。学校に行きたくても行けない。そんな人がいる中で私達は、いろいろな人が納めた税金によって今、こうして学校に通うことが出来ている。もし、税金がなかったら……。今いる友達と出会えていなかったかもしれない。勉強だけに集中することは出来たのかな。今、こうして学習に集中させてくれ、好きなことに没頭できる環境に感謝しなければならぬと改めて感じた。

この作文を通して、税金の大切さを知った。今、私は支えられている。しかし、十年後。今度は、支える代になる。今、投資してもらっている税金にあたるものを私はまだ出来ていないような気がする。だから、これからは一日一日を大切にしていきたい。いつか、恩返しをするために。